

皆さんと行政とがつながる場
まちづくり

懇談会

質問と回答



町民の皆さんの声を「まちづくり」に生かすため、春と秋に開催している『まちづくり懇談会』。

昨年の秋の懇談会にて、鷹栖・北野両地区では地区運営委員会協力のもと軽食を取りながら話す、座談会形式を取らせていただきました。今後もより多くの方が来やすいと思える懇談会づくりに努めます。

ここでは、昨年の秋に皆さんからいただいたご意見を、抜粋して掲載いたします。

Q1 町 営バスは、買い物などにおいて必要で貴重な交通手段であるため、赤字とは思いますが、小型のバスでも構わないので、運行を続けてほしい。

A1 バスの運行は、今後とも続けていく予定であり、皆さんのご意見をいただきながら、より良い交通環境を保ちたいと考えています。積極的なご利用をお願いします。

Q2 町 営バスの時間、道北バスの接続と合わず待合所等での待ち時間が長いことがあります。バスの運行時間について変更してほしい。

A2 道 北バスの接続などを事前に申し込みの時点で説明しておくことで、調整が可能となる場合もあります。使いづらい点については、直ちに改善できることもあるので、町民課住民生活係へご連絡ください。

Q3 鷹 栖町は良い米を作っているの、米粉を活用したPRを図っていたきたいです。

A3 地 域農産物を活用した新たな特産品の開発を進めるため、専属の職員を四季の里に配置する予定です。地域おこし協力隊の活用を考えています。



▲四季の里

Q4 町 内会のあり方や連合町内会のあり方、住民センターのあり方といった地域の活性化について考えていることがあれば教えてください。

目次

CONTENTS



【2】

2 特集 まちづくり懇談会
質問と回答

4 あったかスポットめぐり

5 スポーツでの活躍

6 特集 空き家×可能性

10 アレックスさんコラム
町長コラム

11 イベント情報
はびねすはっぴー通信

12 続・6月からごみの分別
方法が変わります

14 たかすで発掘魅力人

15 たかすホットニュース

16 今月のお知らせ

19 すくすくアイドル
窓口から
人の動き
いきいきわいわいカレンダー
それいけあったかすくん

A4

町

内会は、地域の皆さん

と行政をつなぐ大

切なパートナーです。今後も、地域における福祉や地域での見守りが大変重要と考えますので、行政と一緒に進めさせていきたいです。

また、平成20年度より教育目的だけではなく、福祉などの目的にも活用できるよう、公民館から住民センターに位置づけを改めたところ。今後も地域の拠点として活用していただき、地域の活性化につなげていきたいと考えます。



住民センターの利用（北斗地区文化祭）

Q5

住

民票が欲しいが、仕事等で土日しか行けないがどうしたらよいか。

A5

役

場に電話予約をして住

民票を土日に受け取ることが出来ます。ホームページやフェイスブック等で周知しておりますが、他の制度等含め、今後様々な場面で周知を図ります。

Q6

鷹

栖高校の魅力をもっと

出せば、鷹栖高校に通いたい子どもが増えるのでは。

A6

旭

川大学から講師を招き、

研修を開催しており、町では研修に関わる費用の支援を行っております。この研修を受講し、さつき会に就職している方もいます。特色のある活動など定期的な魅力発信に努めます。

Q7

高

齢者の通院、買物、除雪などの困難者が鷹

栖地区で安心して居住できる高齢者住宅を確保してほしい。

A7

現

在、入居待ちではあり

ますが、高齢者向け住宅として、そよかぜ団地（36戸）があります。生活支援員として日中の見守りを行っています。入居には選考基準がありますので、健康福祉課介護福祉係までご相談ください。

また、北野地区になりますが、サービスタウン高年齢者住宅をさつき会において建設しています（現在は運営開始しており、入居受付中）。これまでどおり自宅で暮らし続けられるように、生活支援体制整備事業を平成29年度より実施し、生活支援・介護予防を強化することで、安心して暮らし続けられる地域づくりを進めます。

Q8

ご

みの分別方法が、すぐ変わり、わかりに

くいたので、高齢者の方でも理解しやすく分別できるようにしてほしい。

A8

6

月から分別方法の変更

を予定しています。新しい分別に合わせて、分別の手引きの配布や説明会を開催します。

Q9

野

球場周辺の子どもたちの安全に配慮したジョ

ギングコースを整備してほしい。

A9

現

在、費用もかかること

から、野球場周辺にジョギングコースを整備する予定はありません。オサラッペ川河川敷の桜づつみ公園の活用をお願いします。

Q10

新

規就農者（商業者等も含めて）特に若い世代への手厚い支援をお願いします。

A10

担

い手研修センターの体

制整備と併せて、新規就農者に対する支援策の検討を進めるとともに、新規開業支援事業についても継続していきます。



Q11

シカ
カの防除
柵・くくり

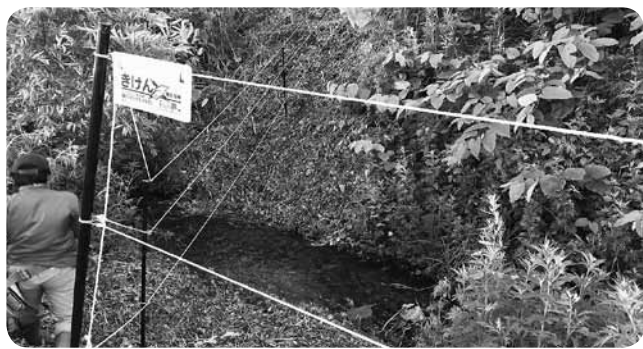
罾は、シカが学習するので効果がイマイチあがらないが継続してほしいです。

A11

電
気柵について

度も国庫補助を活用し、鷹栖町農業推進会議と連携し設置していく予定です。

くくり罾についても、免許取得・更新に対し推進会議で助成しています。



▲電気柵

平成29年度

『春のまちづくり懇談会』を開催しました

4月8日～28日の期間に、各地区住民センターで春の『まちづくり懇談会』を開催しました。

昨年秋に皆さんからいただいたご意見やご要望に対して、町としての今年の予算への反映や取り組み状況を説明。その後、皆さんからのご意見、ご要望を聞かせていただきました。

そこで出たご意見について、速報としてご紹介いたします。

Q. 空き缶を捨てる時、袋がかさばらないように、にぎってつぶれる缶についてはつぶして処理をしたいと思います。

A. 缶をリサイクルする作業に支障がありますので、つぶさずに出してください。



北斗地区まちづくり懇談会

町民の皆さんと、まちづくりの課題を共有するための『まちづくり懇談会』。常に、進捗状況や課題の検証をしながら、町民主体のまちづくりを進めていきます。

今後も、まちづくりに対する貴重なご意見、ご要望など、たくさんのお声を聞かせください。

あったか
スポーツ
めぐり



専務取締役 山崎 真嗣さん

もったいない
～MOTTAINAI リサイクル 100%資源化を目指して～

(株)キョクサン

(7線 11号)

☎ 87 - 3187

古衣料のリサイクル事業を展開している(株)キョクサンは、昭和50年創業。同社は、鷹栖町役場にも回収ボックスを設置するなど、全道93市町村と協力して古衣料などを回収し、油を拭き取り、手袋に利用されるウエス、ヘリサイクルしているほか、古着として利用できるものはカンボジアにある直営の店舗「MIDORI JAPAN (ミドリ・ジャパン)」でリユース(再利用)されています。

同社で特に目を引くサービスが、無料戸別回収サービス「モックル」。電話やインターネットの申込みで、家で衣類や雑貨を無料で取りに来てくれるサービスです。

こういった企業努力により、年間で2千トンもの古衣料、雑貨が回収され、そのうちの約7割がカンボジアでリユース、残り3割がウエスとして生まれ変わっています。

繊維リサイクル率は、現在20～30%といわれています。専務取締役の山崎真嗣さんは「いかに100%に近付けるかが、私たちの使命です」と話してくれました。